

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

**(1)** (50点)

(1)の採点

(1)  $y = 2x^2$  より

$$y' = 4x$$

 7あるから, 点  $(s, 2s^2)$  における  $C_1$  の接線の方程式は

$$y = 4s(x-s) + 2s^2 \text{ すなわち } y = 4sx - 2s^2 \dots \textcircled{1}$$

$$y = 2x^2 - 8x + 16 \text{ より}$$

$$y' = 4x - 8$$

 7あるから, 点  $(t, 2t^2 - 8t + 16)$  における  $C_2$  の接線の方程式は

$$y = (4t-8)(x-t) + 2t^2 - 8t + 16$$

$$\text{すなわち } y = 4(t-2)x - 2t^2 + 16 \dots \textcircled{2}$$

7あるから, ①と②が一致するとする。

$$\begin{cases} 4s = 4(t-2) \\ -2s^2 = -2t^2 + 16 \end{cases}$$

$$\text{7あるから, } (s, t) = (1, 3)$$

7あるから, 求める接線の方程式は

$$y = 4x - 2 \dots \text{(答)}$$

 (2)  $C_1$  と  $C_2$  の交点の  $x$  座標は。

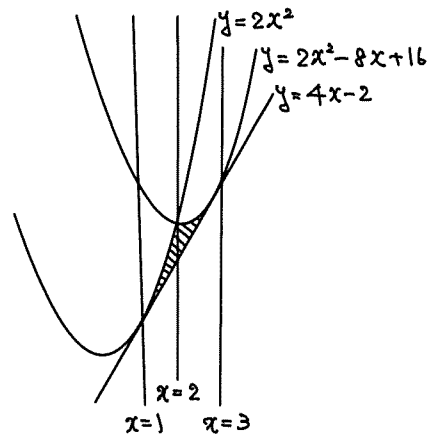
$$2x^2 = 2x^2 - 8x + 16$$

より

$$8x = 16 \text{ すなわち } x = 2$$

以上と(1)より, 求める面積は

$$\begin{aligned} & \int_1^2 \{2x^2 - (4x-2)\} dx + \int_2^3 \{2x^2 - 8x + 16 - (4x-2)\} dx \\ &= \int_1^2 2(x-1)^2 dx + \int_2^3 2(x-3)^2 dx \\ &= 2 \left[ \frac{1}{3}(x-1)^3 \right]_1^2 + 2 \left[ \frac{1}{3}(x-3)^3 \right]_2^3 \\ &= \frac{4}{3} \dots \text{(答)} \end{aligned}$$



解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

(2) (50点)

(2)の採点

(1) Bの座標を  $(a, b)$  とおくと,

$$\overrightarrow{AB} = (a-2, b-1)$$

$$|\overrightarrow{OB}| = \sqrt{10} \text{ かつ } \overrightarrow{OA} \perp \overrightarrow{AB} \text{ より,}$$

$$\begin{cases} a^2 + b^2 = 10 \\ 2 \cdot (a-2) + 1 \cdot (b-1) = 0 \end{cases}$$

$a > 0$  かつ  $b > 0$  の条件のもとでこれを解くと,

$$a = 1, b = 3$$

したがって、Bの座標は  $(1, 3)$  … (答)

(2)  $\overrightarrow{OC} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB} = (2s+t, s+3t)$  であるから,

$s > 0$  かつ  $t > 0$  に注意すると,

$$\Delta OAC = \frac{1}{2} |2 \cdot (s+3t) - 1 \cdot (2s+t)| = \frac{5}{2} |t| = \frac{5}{2} t$$

$$\Delta OBC = \frac{1}{2} |3 \cdot (2s+t) - 1 \cdot (s+3t)| = \frac{5}{2} |s| = \frac{5}{2} s$$

$$\Delta OAC = \Delta OBC \text{ より,}$$

$$s = t$$

よって,

$$\overrightarrow{OC} = (3s, 4s) \text{ と表せる.}$$

$$|\overrightarrow{OC}| = 5s = 4 \text{ より,}$$

$$s = \frac{4}{5}$$

以上より,

$$s = \frac{4}{5}, t = \frac{4}{5} \text{ … (答)}$$

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

(3) (50点)

(3)の採点

--	--

$$(1) \frac{h!}{a!} - h = \frac{h! - a! \cdot h}{a!}$$

$$= \frac{h \{ (h-1)! - a! \}}{a!}$$

∵  $2, a < h$  より  $a \leq h-1$  かつ,  
 $a! \leq (h-1)!$

∴  $T = h^2 > 2$ ,

$$\frac{h!}{a!} - h \geq 0 \text{ かつ } \frac{h!}{a!} \geq h \dots (1)$$

よって、示す可なり。

$$(2) 2 - a! = h! \dots (2)$$

より

$$2 = \frac{h!}{a!} \dots (3)$$

(7)  $a < h$  のとき (1), (3) より,

$$2 \geq h$$

よって, (2) かつ (7) かつ (a, h) は,

$$(a, h) = (1, 2)$$

(1)  $a = h$  のとき

$$(2) \text{ より } 2 = 1 \text{ (2) より 不適}$$

(8)  $a > h$  のとき

$$(1) \text{ より, } \frac{a!}{h!} \geq a$$

∴  $a \geq 2$ , (3) より

$$\frac{a!}{h!} = \frac{1}{2} \geq a$$

よって、不適

∴  $T = h^2 > 2$ , (7) ~ (8) より、示す可なり

自然数 a 組 (a, h) は,

$$(a, h) = (1, 2) \dots (答)$$

$$(3) a! + h! = 2c! \dots (4)$$

•  $a < h$  のとき

$$2a! < a! + h! < 2h!$$

$$a! < c! < h! \text{ (4) より}$$

よって,

$$a < c < h$$

∴  $a < c$ , (4) より

$$2 = \frac{a!}{c!} + \frac{h!}{c!} \geq \frac{a!}{c!} + h > h$$

(a, c) は (1, 1), (1) と同様 (1, 2)

$h = 1$  (2) 不適

•  $a > h$  のとき 同様 (1) 不適

•  $a = h$  のとき

(4) より,

$$2a! = 2c! \text{ より } a = c$$

∴  $T = h^2 > 2$ ,

$$a = h = c$$

∴  $T = h^2 > 2$ , 示す可なり 自然数 a 組

(a, h, c) は,

$$(a, h, c) = (n, n, n) \dots (答)$$

(n は自然数)

--	--	--	--	--	--

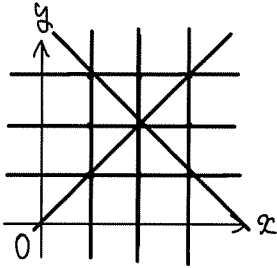
--	--	--	--	--	--

解答はこの線より上の部分に書いてはいけません。

〔4〕 (50点)

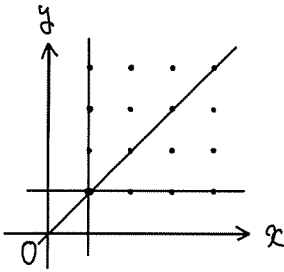
(4)の採点

--	--

(1)  $n=3$  のとき.

左図より,

$$L(3) = 8 \quad \dots \text{〔答〕}$$

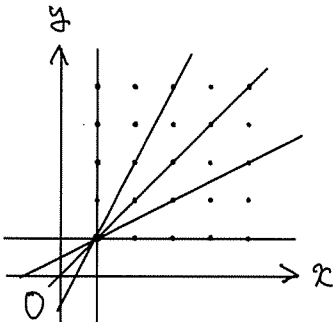
以下, 条件を満たす直線を  $l(n)$  と表し,  $l(n)$  の方向ベクトルの1つを  $\vec{d}$  とする(2)  $n=4$  のとき. $\vec{d} = (0,1), (1,0)$  のとき,  $l(4)$  は4個ずつ存在する. $\vec{d} = (a,b)$  ( $a, b$  は互いに素な自然数) とする. $a, b$  の少なくとも1つが3以上のとき $2\vec{d}$  の  $x$  成分または  $y$  成分は6以上となるから

4個の格子点のうち, 3個以上を通る直線は存在しない.

よって,  $a \leq 2, b \leq 2$  である. $\vec{d} = (1,1)$  のとき,  $l(4)$  は3個存在する. $\vec{d} = (1,2)$  のとき,  $l(4)$  は存在しない. $\vec{d} = (2,1)$  のとき,  $l(4)$  は存在しない.

傾きが負のときも同様であるから,

$$L(4) = 4 \times 2 + 3 \times 2 = 14 \quad \dots \text{〔答〕}$$

(3)  $n=5$  のとき. $\vec{d} = (0,1), (1,0)$  のとき,  $l(5)$  は5個ずつ存在する.(2) と同様に,  $\vec{d} = (a,b)$  ( $a, b$  は互いに素な自然数) とすると, $a \leq 2, b \leq 2$  である. $\vec{d} = (1,1)$  のとき,  $l(5)$  は5個存在する. $\vec{d} = (1,2)$  のとき,  $l(5)$  は3個存在する. $\vec{d} = (2,1)$  のとき,  $l(5)$  は3個存在する.

傾きが負のときも同様であるから,

$$L(5) = 5 \times 2 + (5+3+3) \times 2 = 32 \quad \dots \text{〔答〕}$$